Withコロナ時代で変わる 働き方とサービスの形

平和堂グループはお客様の暮らしのそばに寄り添い続けるために、 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全安心な売場の提供に努めています。

お客様、そして従業員の安全を守る

新型コロナウイルス感染症対策

刻一刻と変化する状況に 迅速に対応

2020年2月、国内での感染拡大に 備えて対策本部を設置し、お客様と 従業員の安全のため、また店舗を 継続的に営業するために、様々な 取組みを行いました。

店舗を運営するうえでは、感染 リスクを低減させるために、店内に 消毒液を設置し、フィジカルディス タンス*1を保つ啓発ポスターを掲示 するなどしました。

また非食品の売場を中心に、通常 より1~2時間、営業時間を短縮する ことで他部門などへの応援体制を 組み、食品の品出しやレジ業務など、 部門の壁を越えて連携しました。

また対策本部では、4月から従業員に向けて「新型コロナウイルス 情報便」を配信。感染リスクが高まりやすい場面や、手洗いの 方法などについての情報を発信し、従業員の感染予防対策への 理解を深めました。

※1 フィジカルディスタンス

感染症の拡大防止のため人との距離を大きくとることを、日本では一般的に「ソーシャルディス タンス (社会的距離)」といい、欧米では公衆衛生学用語である「ソーシャルディスタンシング (社会的 距離の確保)」ということが多い。しかし、WHO (世界保健機関)は、人との心のつながりは離れ ないように促すため、「フィジカルディスタンシング(身体的距離の確保)」に言い換えている。



▲従業員向け新型コロナウイルス情報便

VOICE

健康サポートセンター 統括産業医 河津 雄一郎

未知のウイルスとの戦い

全く新しい感染症なので、医学的 な情報が不足する中、国内外の論文 や研究機関等の発表を参考にしな がら手探りで対策をはじめました。 医学的な視点だけでなく、社会的 孤立や感染者差別が起きないこと

安心してお買い物できる売場づくり

地域の皆様に安心してお買い物をしていただくために、店舗で は様々な感染防止の対応を行っています。売場ではカートなど共有 箇所の定期的な消毒作業、クッキングサポートサービスの試食 の中止。レジでの対応については、透明シートの設置や金銭 授受の際のコイントレーの使用、必要に応じてフェイスガードや 手袋の着用などを行っています。またお客様からのお声を反映し、 サッカー台に設置していた指を湿らせるためのスポンジをアル コールタイプのボールへ変更するなど、迅速かつ徹底した安全 対策を実施しながら営業を続け、生活インフラとしてお客様の生活 を支えられるよう努力を重ねています。

新型コロナウイルス感染症対策について、お客様から貴重な ご意見を頂戴する一方、営業を続ける店舗や従業員に対し、 「営業してくれてありがとう」「対応が早くて感心しています」などの、 感謝のお声も数多く頂戴しました。

新型コロナウイルス感染症対策

1 レジでの飛沫感染防止シート



2 手指消毒用アルコールスタンド 3 フィジカルディスタンスフロアシール



Withコロナ時代で変わる

働き方とサービスの形

4 ショッピングカゴの消毒



5 サッカー台の飛沫感染防止シート



6 サッカー台のアルコールタイプの



誰もが安心して働ける職場づくり

コロナ禍における働き方の整備

社員教育の変化

会議や研修、勉強会は変更・中止を検討し、一部はWEB形式に変更して、社内 での感染防止に努めました。各店舗にタブレットを配備し、集合形式での社員教育 ではなく、2018年5月から導入しているeラーニング※2を活用して、売場の社員が 各自で受講できるように環境を整備しました。

また2020年10月には、平和堂で初めてオンラインでの内定式を開催しました。



▲タブレットを使ってeラーニングを視聴

※2 eラーニング パソコンやタブレット、スマートフォンなど情報技術を用いて行う学習のこと。



▲オンラインによる内定式の様子

テレワーク勤務規程の制定・雇用制度の改定

2020年4月7日の緊急事態宣言の発出を受け、出社する本部 の社員が半数になることを目指し、在宅勤務へ取り組んでき ました。10月には在宅勤務に関する規程を定め、勤怠システム などの社内設備も徐々に整備しました。



▲WEB会議の様子

また小学校などの臨時休校などにより、保護者が仕事を休ま ざるを得なくなった場合、特別休暇の取得を認めるよう対応 しました。また妊娠中の社員に対しても、希望があった場合には、 通常より前倒しで産前休暇を取得できるようにしました。

HEIWADO REPORT 2021 12